

★関東アコ20周年記念企画コーナー★

“Music”合同演奏練習始まる・・・本邦初演！！



6月28日（日）柴崎和圭先生ほか23名が集まり1回目の練習を実施しました。

□この曲について

作曲者は1949年生まれの John Miles。今回みなさんが演奏するスコアはアコーディオン8パート、パーカッション、ギターで、アコーディオンのために編曲されています。

この編曲者Kolzさんは、ジャズアコにストとしても有名な方で、またいろいろな曲を作曲、編曲されています。

この曲は、向こうでも人気があり、コンテスト(アコーディオン・オーケストラ部門)などでも好んで演奏されています。

参考に、アコーディオンではないですがどんな感じの曲なのか下記サイトをご覧ください。ユーチューブで流している歌を皆さんに聞いてもらえれば参考になるかと思います。

本邦初演です、私としては、この曲は是非日本でも成功させたい曲の一つです。

http://www.youtube.com/watch?v=RSsWWA2_SDQ




□譜読みについて

1. 譜面を見ると[Klar. 8']、[Trp. 8']、[Horn. 16']など、数字の入った表示が出てきます。

この数字は、私達が普段「H」、「M」、「L」と呼んでいるスイッチを意味します。

基本的には、4=「H」リード / 8=「M」リード / 16=「L」リードです。(クラリネットだったりヴァイオリンだったりで「M」又は「MM」になったりすることはある)

2. 他に、19小節から「7/4」(4分の7拍子)が出てきます。ここは7拍を4拍と3拍に感じて他のパートの音を聞いていくとつかみやすい。

3.  左の小節のように、4分休符+8分休符+16分休符休んでから音が入るところは、何処までが一拍なのか一拍ずつ線を引いちゃう……等々

□今回はパートごとの音合せに時間を多く使い、残りの全体合わせで一応最後までいって見た。



■早くも帰り支度の中で、「とりあえず最後まで通したので雰囲気があった」との声が聞こえていました。(写真は全体合わせの前に譜読みの話を聞く参加者の様子)